

驚き、体調への心配も

「生前退位」のご意向、沿う形に

天皇陛下が「生前退位」の意向を示されて、いることが明らかになり、県内でも驚きや体調を心配する声が上がった。

昨年12月に天皇、皇后陛下が視察した千葉市若葉区の本椅子開発・製造会社「オーエックスエンジンアリング」の石井勝之社長(36)は「驚いた。ご高

齢なので、ご意向に沿った形になるよう政府も国民もなるべく早く考えた方がいいのではないかと話した。

陛下はリオデジャネイロ・パラリンピックに出場する選手のために製作中の陸上用車椅子などを見ながら、従業員に「選手に合わせるのですか」とな

り、2010年に天皇陛下が訪れた市川市曾谷の医療器具メーカー、河野製作所の河野淳一

社長(53)は「当時に比べると、お体のことは心配。周囲を気遣って熟慮されてのことだと思ふ」と気持ちを察した。「細かい作業ですね。疲れませんか」と社員をねぎらう姿が印象だったといい「いつでもお元気でいていただきたいということしかありません」と語った。

陛下が昨年4月に戦没者慰霊のために訪れたパラオ共和国から戦後引き揚げ、我孫子市に移り住んだ井原証之助さん(88)、正子さん(85)夫妻は「友人が大勢亡くなったパラオは第二の古里であり、陛下が訪れたのはありがたかった。戦争から災害まで、苦労された天皇陛下だから、ゆっ

くり休んでいただきたい気持ちもあるが、さびしい気持ちもある」と複雑な心境を吐露した。

書道フェスは、公園に隣接する東京芸術劇場で、毎日書道展に出品する若手書家で行く「墨輪会」(松尾治代表が開いている「第5回墨輪展」の野外イベントとして初めて企画された。



天皇、皇后両陛下の訪問を受けた時の写真を手に、当時の様子を振り返る石井勝之社長

知事も体調気遣う

森田健作知事は14日の定例記者会見で「大変に驚いた」と感想を述べた上で「東日本大震災では真っ先に被災した旭市の避難所に

お見舞いいたさなくなど、県民にとっても大変大きな支えになってくれた」と振り返った。

82歳と高齢で大きな手術もしたことに触れ「お体が大変な時も日

本中に足を運ぶ姿は、一国民として頭が下がっている思いだった。陛下お体大丈夫だろうか、そんな感も受けていた」と体調を気遣った。

【川名壮志】

皇族は南房総地区を訪れる際、鴨川市の鴨川グランドホテルを定

桜林高生らが実

東京の公園で書道手書き文字の魅力を発信する「書道フェス」が14日、東京都豊島区の池袋西口公園であり、県内からは千葉市の桜林高と柏市の流通経済大付属柏高の書道部が参加してパフォーマンスを披露した。

書道フェスは、公園に隣接する東京芸術劇場で、毎日書道展に出品する若手書家で行く「墨輪会」(松尾治代表が開いている「第5回墨輪展」の野外イベントとして初めて企画された。桜林高の部員6人は男性4人のボーカルグループ「Green N(グリーン)」の震



書道フェスでパフォーマンスを披露する若手書家たち

た。

8年1月、天皇陛下が皇太子時代に初めて鴨川を訪れた際、前身の旅館の若女将として迎えた鈴木健史社長の母初子さん(89)は「陛下は昔から性格的にきちっとされた方だから、おつとめを第二にされてきたと思う。それだけに、お体が心配だった。ゆっくりと静養なさってほしい」と語った。

天皇、皇后陛下が1992年香取市の称宣、佐(55)は「耳に水だされた目を出し、たをお祈りと話した。『金森崇子、橋本隆、近藤